

特定非営利活動法人 日本免疫学会
2023年度 前期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	鎌谷 智紀	会員番号	0036800	
申請者の所属・職名	北海道大学 遺伝子病制御研究所 免疫生物分野 博士課程2年			
出席会議名	American Transplant Congress 2023			
発表論文タイトル	Induction of "Spontaneous" Allograft Tolerance by Pluripotent Stem Cells			

実施結果:

この度は2023年 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award (前期分) に選出頂きまして、誠にありがとうございました。岸本忠三先生をはじめ、選考委員会の先生方、私を推薦して頂きました清野研一郎先生に心より御礼申し上げます。

私は本トラベルアワードによる支援のもと2023年6月3日から7日まで、アメリカのサンディエゴで開催された American Transplant Congress (ATC) 2023 に参加し、口頭発表を行ってまいりました。本学会は、毎年アメリカで開催される移植医療に関する国際学会として、基礎研究・臨床研究の演題が5日間かけて数多く発表されます。現在取り組んでいる“移植免疫寛容”に関する発表も連日のようにあり刺激的な数日間でした。

私は学会3日目に Rapid Fire Oral Abstract Session – Late Breaking: Basic & Translational という区分で「Induction of "Spontaneous" Allograft Tolerance by Pluripotent Stem Cells」という演題を発表しました。移植医療における課題の一つである、移植片に対する拒絶反応を、多能性幹細胞を用いて制御(寛容誘導)することが可能であるという内容です。マウス他家皮膚移植モデルにおいて、移植に先立ってドナー由来の多能性幹細胞を接種するのみで抗原特異的な免疫寛容を誘発する事ができるという現象について、現象を十分に理解できるだけのメカニズムを示すことはできなかったものの(現在精査中)、発表後は多くの質問をいただくことができ、新たな視点を得る事ができました。

初めての国際学会参加であり多くの不安がありましたが、データを元にディスカッションし、研究を促進するための気づきを得る事ができ、免疫寛容誘導や移植医療に関わる他の分野(自然免疫や移植臓器の保存法、異種移植など)の最新の知見を一度に知り得る事ができ非常に有意義な経験となりました。

最後になりますが、この度は貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。この経験を糧として今後より一層研究に邁進していく所存です。